別海町生き抜く力アッププロジェクト事業
第３号

「生活・体力向上」の取り組みと「豊かな心の育成」について

第１号では「学力向上及び別海町子ども会議」を、第２号では「教師力向上」の取り組みを紹介しましたが、今回は「生活・体力向上」の取り組みと、これからの社会をより良く生きるために必要な「豊かな心の育成」の中核となる「道徳」の取り組みを紹介します。

第２期生き抜く力アッププロジェクト

学力向上
- 読書教育とNIE
- 表現の場の工夫・充実
- 学びのTゾーンに基づく自学力を育む授業改善
- 「みんなでやろうぜ！家庭学習WEEK」の拡大と定着

生活・体力向上
- 体力づくりの推進
- 「スイッチOFF22 生活変えよう未来を変えよう」の拡大と定着
- 給食一品「まごは（わ）やさしい」レシピコンテストの拡大

教師力向上
- 秋田県横手市教育実践調査　・スーパーティーチャー研修会
- 日常授業改善のための研修内容のブラッシュアップ

別海町子ども会議

1 生活・体力向上について

本町では「生き抜く力アッププロジェクト事業」に基づき「生活・体力向上」のため、下記の取り組みを行っています。

①「体力づくり」の推進

毎年、文部科学省が実施している「体力テスト」の結果から、本町の子どもたちは「柔軟性」に課題があることが分かりました。これを受けて、各学校では「柔軟性向上」のため、体育の授業中に入念な柔軟体操とストレッチを取り入れています。

また、学齢期は特にバランス感覚を培うべきとされているため、各学校では最も効果的といわれている縄跳び運動に取り組んでいます。

●啓発の一環として「スイッチOFF22」ステッカーが貼られたスクールバス

②「スイッチOFF22」の拡大と定着

昨今、子どもたちのスマートフォンをはじめとしたメディア機器の長時間の使用や使用方法が問題となっています。そのような中、本町では「スイッチOFF22」を合言葉に「すべてのメディア機器の使用を22時（午後10時）には、やめよう」という取り組みを推進しています。

また、各学校では児童生徒向けにメディア機器使用に関する講演会を行うほか、町独自に児童向けの「メディアコントロール・シート」の取り組みを進めています。

月　日	午後4時	午後5時	午後6時	午後7時	午後8時	午後9時	午後10時	午後11時	ﾃﾚﾋﾞ・ｹﾞｰﾑ・ﾈｯﾄの時間
例）2月22日（金）	ﾃﾚﾋﾞ								60分
	ｹﾞｰﾑ								50分
	ﾈｯﾄ								10分

●メディアコントロール・シート
テレビ、ゲーム、インターネットの、使用時間などに関するチャレンジがあり、子どもたちは実際の使用時間を記録し、チャレンジが達成できたかを確認します。

③給食一品レシピ「まごはやさしい」コンテストの実施

子どもたちが、１日のエネルギーの元となる朝食を毎日とる、栄養バランスの取れた食事をとる等、理想の食習慣を作ることを目的に、子どもたち自身が給食一品レシピを考えるコンテストを実施しています。

本年度は、本町でも「食育」とともに推進している「地産地消」の視点から「まごはやさしい」の食材と別海町の特産品を使用したレシピコンテストに取り組み、多くの応募作品から２月と３月に計６品が献立として採用されています。

2 豊かな心の育成「道徳」の取り組みについて

小学校では本年度から（中学校では来年度から）、従来の「道徳の時間」が、道徳の重要性の高まりから、正式な教科「特別の教科　道徳」になりました。それに伴い、教師に向けた実践指導や研修等により、児童生徒一人一人の良さを認め、伸ばし、道徳性を培うような教育ができる体制づくりが各学校で進められています。

また、本年度、北海道教育委員会が北海道にゆかりのある偉人を取り上げた中学校副読本『きた・ものがたり』の中で、本町にゆかりのある「加賀伝蔵」が掲載されました。

この「加賀伝蔵」の物語では、道徳科の中で育てたい「相互理解」「寛容」「郷土愛」「勤労」について学ぶことができます。この教材を使った授業は、ふるさと「別海」をより一層「知る、好きになる」ことにつながると考えます。こちらの副読本は、北海道教育委員会のウェブページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

北海道教育委員会「きた・ものがたり」のウェブページ
http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kyouikukatei/kitamonogatari.htm

●特別の教科　道徳
授業時間だけではなく、クラブ、部活動、清掃や休み時間といった、教育課程以外の時間に関しても道徳教育の一環であるため、国語、算数などの教科とは異なり「特別な教科」とされています。